



11月例会 一隅を照らしこころ元気に積極的に生きる ~大人の背中~

秋の装いも深まり寒さを感じる11月15日、尾道国際ホテルにてテーマ「一隅を照らしこころ元気に積極的に生きる~大人の背中~」と題しまして、こころの元気研究所の鎌田敏氏をお招きし、11月例会が開催されました。

本例会では、「絆コミュニケーション」、「ヒーローインタビュー」等の参加型ワークを取入れ、又「カッコいい大人&元気な人の共通点」、「積小為大&大人の背中」、「元気な自分、元気なまち、つながる心」、「JUM P!!!誰かが動けば、空気が変わる」とのプログラムで御講演頂き、楽しみながら学べる例会となりました。

「子供は大人の背を見て育つ」、如いては我々青年、大人が身を正した生活を送る事



「子供は大人の背を見て育つ」、如いては我々青年、大人が身を正した生活を送る事が子供達への一番の教育になると深く感じさせられました。今まで以上にメンバー間の内面にも触れることができ、JJC、家庭、職場、そして尾道を明るく照らすきっかけづくりとなるヒントを得ることができました。

(取材:永井)



11月例会に先立ちまして、新入会員バッジ授与式が執り行われました。本年度正式入会となる15名の会員に村上理事長の手でひとりひとりにバッジと名鑑が授与されました。そして、2012年度新入会員を代表して、村上君が挨拶を行いました。15名の新入会員の皆さん、ご入会おめでとうございます。

(取材:山北)

バッジ授与式



委員会だより

未来ビジョン委員会

皆様一年間、本当にお疲れ様でした。そして、安部副理事長を筆頭に未来ビジョン委員会の皆様、本当にお世話になりました。本当に思っただけを頼りに突っ走った1年でした。そんな私を未来ビジョン委員会の皆様に支えて頂き、最高の一年を過ごすことができました。思えば本当に忙しい1年であったと思いますが、みんながいたから乗り越えることができました。一人ひとりの力を合せればどんなことでも乗り越えられると思えた一年でした。本当にありがとうございました。



委員長 村上 忠正

未来の宝育成委員会

未来の宝育成委員会の榎原です。理事予定者を含め1年5ヶ月間、あっという間に過ぎた気がします。1年を通して3月公開例会、家族会、寺子屋、家訓づくり、11月例会を行いました。委員会メンバーだけでなく、沢山の方に支えられ、助けて頂きました。皆様への感謝の気持ちとこの経験は私にとってかけがいのないものとなりました。この理事機会をあたえて下さいました皆様、ご支援頂きました皆様本当に有難う御座いました。来年は、皆様へ恩返しができるよう頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



委員長 榎原 靖貴

社会開発委員会

1年4ヶ月本当に早かったです。社会開発委員会としては、みなと祭りから始まり6月例会、三休廻し、そしてしまなみ3JCで終わりました。他の委員会の皆様にはお願いばかりで、また、祭りの参画では多くのメンバーの方々に参加協力していただいた事を深く感謝申し上げます。萩原副理事長を始め当委員会のメンバーとは本当に楽しく過ごさせていただけました。最高の委員会だったと思います。この出会いが人生の宝となることを切に願います。



委員長 高垣 利将

ビジネス開発委員会

本年度は多くのメンバーの方々に支えられながら、委員長を務めさせていただき本当にありがとうございました。昨年度から2年間理事を経験し、達成感、苦しみ、様々な経験を積んだ日々でした。「かわいい尾道」では、本当に悩み、苦しみました。本当に多くの方々に支えられ感謝の気持ちでいっぱい。いまだに「かわいいの定義」と女性の気持ちはよく分かりませんが、この2年間を生かせる今後にしていきたいと思います。萩原副理事長、村上副委員長には大変お世話になり、支えていただきました。そして委員会メンバーの皆さん本当にありがとうございました。感謝感謝の1年ありがとうございました!!



委員長 安本 皇

拡大研修委員会

本年度、15名の馬原チルドレンが誕生いたしました。ご協力を頂きましたメンバーの皆様、OB会員の皆様によりお礼申し上げます。新入会員研修も無事に終え、すべての事業が終了いたしました。この一年、委員長として楽しい事も苦しい事もいろいろ経験させていただきました。その中でも、いつも陰で支えてくれて、私のことをよく見て、よく知ってくれている素直な委員会メンバーに出会う事が出来ました。(本多副理事長も) また、5か月間お預かりした大切な15名の新入会員のメンバーにも大変恵まれ、大切な時を過ごす事が出来ました。これからも忘れることの出来ないかけがえのないこの一年を糧にJCライフ残すところあと10年! 委員長 馬原 美晴



委員長 馬原 美晴

総務情報委員会

2012年度村上理事長「絆」の卒業例会に向けて、卒業予定者の委員長を除いた全員が頑張っております!! 本多副理事長と総務情報委員会 10名のメンバーには、最後まで助けてもらい心から感謝しています。呑んだあとにまた抹茶を点てますね!



委員長 今川 智弘

55周年実行特別委員会

卒業予定者の田中公浩さんとのハマチ釣り対決の惨敗に心が折れかかっている川原でございます。クリスマス会もたぶん無事に終え(この記事入稿時はまだ11月)、我々55周年実行特別委員会のすべての事業が終了しました。この1年で関わってきた、すべての皆様に感謝を申し上げます。そして、次年度以降そのご恩を少しずつ返していきたいと思います。ありがとうございました。



副実行委員長 川原 浩太

事務局

2012年度もすべての事業が終わろうとしています。委員長、副委員長、メンバーの皆様にはご無理を申し上げることも多々あったと思います。事務局メンバーには多大なるお力をいただき大変お世話になりましたこと感謝申し上げます。あと2週間ほどありますが、最後まで頑張りましょう! 来年も素晴らしい1年になることを祈念申し上げます。



事務局長 河井 茂

1年間最後まで発行できました!ご協力誠にありがとうございました!

編集後記

総務情報委員会一同

幹事 山北真也
委員 池田憲人
委員 山本邦人
委員 永井大貴
委員 手塚淳二
委員 小林輝久
委員 井上美和
委員 麻生裕雄
委員 今中雅浩
委員長 今川智弘
副委員長 本多隆士
副委員長 村上忠正
副委員長 高垣利将
副委員長 安本皇
副委員長 榎原靖貴
副委員長 馬原美晴
副委員長 川原浩太
副委員長 河井茂

11月合同委員会



卒業生スピーチ
 鍛治川立章君
 青年会議所には13年間在籍させていただきました。入会当初はあまり好きではありませんでした。27歳で尾道に帰ってきたときに家を継いだばかりでしたが、仕事を始めたばかりでしたのでその年の入会はお断りしました。しかし、声がかかると

うかがって考え直し、翌年改めてお誘いいただいた際に入会させていただきました。
 入会してすぐに福山で開催される全国大会を支援する委員会に配属されました。いろいろ大変な思いはしましたが、仮入会員の時期に、少しも全国大会という大きな事業に携われたことは自分にとって非常に大きな経験だったと思います。
 13年間のなかで一番の思い出は、平成16年度の全国大会実行特別委員会副委員長をさせていただいたことです。そのときは、この役をやらせてもらえないなら青年会議所を辞めてやるというくらい意気込みで、自分の力がまわす通していろいろな形で配属させていただきました。結果いろいろの方に迷惑をお掛けしたり、喧嘩をしましたが、プロアマ問わず多くの方に支えられて、無事やり遂げることができました。
 翌年、総務の委員長をやらせていただくことになりましたが、この年は委員会をまとめることの難しさを実感しました。自分が今まで出来たと思っていたのはただの過信で、実際には思っているほどの実力は伴っていませんでした。痛感した1年でした。
 一つ一つ思い返すと、そのときのメンバーに感謝するばかりです。でも一番感謝しなければならぬのは、2010年に1年間理事長を務めさせていただいたことだと思います。本当にありがとうございました。それが「2010年活動指針」です。これによって先陣がやってくれたことは一つ一つ何かしらの意味があります。その部分を整理するという意味でも、こういって指針のようなものを作った。新しいことを始めるには相当な努力がいります。すぐに素晴らしいものが生まれてくることはありません。ですが、我々尾道青年会議所には50数年の歴史のなかで培われたものがあります。継承していく必要のあるもの、もつていくべきもの、そして新しく生み出す必要のあるもの。それを自分なりに整理し、次のステップへ踏み出すことができるように、活動指針を出させていただきました。
 そして最後に絶対に言っておきたいことがあります。あるとき「昔はJICしかなかったが、今はJICもある時代になった」という言葉を掛けられました。その場でははぐらかしましたが、決してそうではないと思います。尾道にはJICを始めた多くの団体がありますが、青年会議所はいつの時代にも先駆者であった。行動力を持って活動できる唯の団体であると思います。そういうプライドを持って、今後も活動していきましょう。今行っている活動はすぐに芽が出るものばかりではありませんが、いつの間にか尾道のまちに根付いている、そういう活動をしたい。そういう気概をもったメンバーをどんどん増やしてください。我々は傍観者であってはいけないと思います。このバチを付けて、尾道のまちのために先陣を切ってやってくれたいという思いを持って、今後も活動をしていってください。
 今回の場に立ち、13年間のJICライフに一点の悔いもありません。本当にみなさんには感謝しています。みなさんの今後ますますの活躍を祈念申し上げて、卒業生スピーチとさせていただきます。ありがとうございます。



卒業生スピーチ
 巻幡 憲典君
 平成8年に尾道青年会議所に入会して、17年間在籍させていただきました。ご紹介いただいたL.O.M歴を見ているだけでも長かったなと改めて実感しています。私の父親が尾道青年会議所のOBで、「入会したらいろいろな人とお話して入会させてください」という話をいつも聞いていたこともあり、自ら志願して入会させていただきました。

私が仮入会員のときに言われたのは、「まずは3年間全ての事業に出ない。そして何も意見を言うな」ということでした。そのときは「この団体に入ってしまったかな」と少し戸惑いましたが、最初の事業として三休庵に参加させていただきました。当然仮入会員の神輿を担がせてもらえませんでした。ただ、宮神社への帰り道に、翌年のレギュラーを掛けたテストの場として少し担がせてもらうことができました。もともと私は体も大きく力には自信もあつたので、思いきり元気よく担いだ見事テストに合格しました。でも、その翌年から自分が配属される委員会が、祭り委員会と拡大委員会ばかりになったのは、少し驚きました。また、今の会社を父親と二人で立ち上げたばかりだったので、途方に暮れていました。そこに真っ先に駆けつけて励ましてくれたのが、青年会議所の先輩でした。本当に言葉では言い表すことができないほど感謝しています。会社関係の事務手続きなどもやらなくてはいけなかったことが山積み状態で、正直悲しむ暇もありませんでした。そのなかで唯一、青年会議所の先輩方と話をしているときにラックスで、自然と涙も出てきました。それは私のなかで青年会議所のメンバーの存在が大きかったのだと思います。突然の訃報で青年会議所活動もやっていた自信がなく、なにかして行こうと思いましたが、メンバーの存在の大きさに気付き、なんとか続けて行こうと思えました。青年会議所に入会して良かったと改めて思える機会でした。
 最後に、今年参加した全国大会の卒業生代表スピーチのなかで心に残るものがありましたので、披露させていただきます。それは「青年会議所に入ってくるときは、みんな自分の為という思いで入ってきます。しかし、それは大きな間違いで、青年会議所ではみんなの為に何かをしてあげることによって、結果として自分にとってのメリットという内容の言葉でした。この言葉を聞いたときに、青年会議所に入会した当初の思い、そして17年間の活動を振り返る今思うこと。その全てがこの言葉に詰まっていると思えました。是非みなさんもこの言葉の意味を考えていただいで、今後の青年会議所活動の役に立てていただければと思います。
 17年間本場に充実した青年会議所生活でしたし、十分に納得できる17年間で、みなさん、この場に立ち、このように思っています。それが、精いっぱい青年会議所活動を頑張ったこととして楽しんでほしいと思います。みなさん本場にありがとうございます。

秋期ゴルフ大会



去る11月23日(金)、勤労感謝の日にうずしおカントリークラブにて秋期ゴルフ大会が開催されました。
 秋期は卒業予定者の追い出しコンペでもあり、鍛治川立章君、田中公浩君、巻幡憲典君が現役最後のコンペをタイナミックにプレーされ、無事終了することができました。ご参加頂きましたOBの皆様、現役会員の皆様、誠にありがとうございました。
 追伸..来年度ゴルフ同好会部長に岡本正也君が立候補されました(尾道じゃがいもクラブ 部長 川原浩太)

クリスマス会



12月2日(日)、グリーンヒルホテル尾道にてクリスマス会が開催されました。
 オープニングでは、トナカイ&チヨッパーの登場で少し場を盛り上げて頂いたの、大道芸人「クラウン」ななしさんの登場。集まった子供たちはクラウンななしさんの見る者を引きつける芸に大興奮。そしてお待ちかねのサンタクロース!今年は歌をうたったり皆の前でお話ししたりと少し陽気なサンタクロースさんで、子供たちも大喜びでした。また、クリスマスケーキを家族みんなで作るイベントもあり、プレゼントもあり、普段段、家をあげがちなお父さんと家族との絆も深まるひと時も、最後に参加したお父さん全員が花束を持ち、愛する奥さんにプレゼントするといったサプライズ演出もあり、お父さんも奥さんも子供たちも、みんな笑顔あふれる素晴らしい夜になりました。(取材:山北)

新人会員研修

今回、新入会員研修として、「NPO法人尾道空家再生プロジェクト」の主催する「土のうの会」及び、再生した物件を皆で見学し趣旨や経緯、想いを聴くという事業を行いました。
 実は僕がJICに入会するとき、3分間スピーチにて「空家再生プロジェクトをJIC内に広めてゆくと」熱く話したことを今でも覚えています。ただそれは今でも実現することなく、ブルズルとやって来ました。が、今回の研修にてNPOの副理事の立場としても、実現することができたのは心から嬉しく、又充実感でいっぱいな今日この頃です。
 空家再生プロジェクト(以下空家P)とは、「空家」×環境×建築×コミュニティ×観光×アート...の5つの柱の元活動する今年5年目となるNPO団体です。
 山手地区では現在、空洞化と高齢化が進み、空き家が数多く存在しています。残念ながら住人を失った家々の傷みは年々加速しています。空家Pではそれらの空家を再生し、新たな活用を模索していきます。この活動を通じてはかにはない尾道らしいまちづくりを展開していこうという思いです。実は山手地区だけではなく、商店街のF.M尾道の目の前にある物件「あなごね」では、既にゲストハウス(たった2500円で宿泊出来、人との交流も出来る宿)として営業を始めており、今月中にはカフェもオープンする予定です。是非皆様見学がてらお茶でもしに行ってみてくださいね。
 僕はこの先、明るく楽しい尾道の未来を考えていく上で、空家Pの実績は大きな宝物になる!と確信しています。物件の一件一件に心を込め、県外の方や学生をも巻き込み、楽しみながら思いを込め、皆でなるべくお金をかけずに「コツコツ」地道に「知恵を出し合いながら物件再生を繰り返す」今までやって来ました。これには手間と時間がかかる。だからこそお金には変えられない!間違いない!間違いない!

「これは真似の出来ないものとなる!と確信しています。だからこそ注目されているのではないかと思っています。
 この先も活動を続け、10年後:20年後:再生を繰り返された尾道の町並みを想像してみてください!なんだかワクワクしてきませんか?」「行ってみたい!」「活動について教えてください!」「尾道で泊まりたい!」「もう尾道に住みたい!」「強引ですか?」「いやいや、参加者の皆様とお話をしましたが、戯言では無いはずですよ。夢を考えたたり叶えてゆくのは楽しい。それは、情熱をもった1人の人間の行動から始まるのだという事を僕はこの団体から学びました。
 そして、研修のまとめとして、「研修を受けて、JICとして今後の尾道に出来る事はなにか」というテーマで3分間スピーチをしました。それぞれ企業人としての考え方や、「尾道人」としての様々な意見を聞くことが出来ました。これからの尾道JICを担っていくにあたり、人材が入会してくれたいと嬉しく思っています。是非、JICの皆様にも関心をもちて頂き、この空家Pの活動に御賛同頂き、法人会員となつて頂ければ嬉しく思います。詳細については是非ホームページをご覧ください!
 そして、この先僕が直接何か皆様の前にお願いが上ったら「はい!」か「YES!」でお答え頂けることを切に願っております!
 長々ととなりましたが、本音が角、今回は本音にありがとうございました。これからも皆様の愛する尾道を共に盛り上げて参りますよ。
 (記事:山北浩輝 山根浩輝)

広島ブロック協議会 運営団からのご挨拶

広島ブロック協議会として活動した1年も終わろうとしています。「変わらないために変わる」凛然とした誇りある広島創造のテーマのもと、「脱無関心」を掲げた我々の活動も予定者段階を含め、1年4ヶ月余り経ちました。その間、村上市理事ははじめとする尾道青年会議所にも多大なご支援を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。
 1月の新春会議から始まった広島ブロック協議会。主な事業は会内事業では福山にて野球大会、三次でゴルフ大会、東広島で新入会員セミナー、竹原でブロック大会を行いました。対外事業では「脱無関心」を指し県内の8校の中学校で憲法教室を実施して子供達に憲法への関心を持ってもらいました。またエネルギー問題に広く関心を持ってもらうため、市民と専門家に加えタレントの島田洋七氏を迎え、「Eiroshia Carrying」と題して活発な議論を行うことができました。会員大会のメインフォーラムでも、衆議院議員河野太郎氏、L.C.Wニコル氏を招き、エネルギー問題についての講演とパネルディスカッションを行いました。会場がほぼ満員だったことがみなさんのエネルギーへの関心の高さを示していると感じました。
 中国地区カンファレンス、全国大会、ASPAC、世界会議、マツダスタジアムにおいて広島の魅力を発信すべく、広島から市を実施して好評を得ました。
 他にも、東日本大震災の被災地の視察や各L.O.Mのブロック会長公式訪問など盛りだくさんな1年でした。
 各事業に参加、協力いただき、改めて厚くお礼申し上げます。
 1年間でのこの広島ブロック協議会での経験を今後のJIC活動に生かしていきたいと思っております。
 広島ブロック協議会運営団 一同

輝
今月の1冊
 美しき日本の残像 (アレックス・カー) (朝日新聞出版)
 最近、新開町のポプラ并道で5キロリハウンドした小林です。
 今月お勧めするのはアレックス・カーの「美しき日本の残像」です。
 著者は、幼少の頃に横浜浦在経験を持ち、エール大学日本に留学中にヒッチハイクで全国を旅するうちに徳島県祖谷の日本の原風景に感銘を受け茅葺屋の古民家を購入し再生、現在は宿泊施設として活用されています。新入会員研修でも学んだ空家再生をもっと一歩進めて文化としての視点で空家をご覧になられてはいかがでしょうか?
 ご購入は、啓文社リサイクル館高須店まで。小林輝久

シネマ尾道
今月のオススメ映画
 2012「夢売るふたり」製作委員会
 残念ながら、次年度のJICライブ担当委員会からまだお声掛けがないので、おそらく今回で映画コラムは打ち切りなのでは、との予感がしています(涙)。皆さま2年間お読みいただき、ありがとうございました。
 さて、最後にご紹介いたしますのは、我が広島が誇る女性監督・西川美和最新作。火事で全財産を失った夫婦が、再出発のため結婚詐欺を繰り返していきいます。相手が好きだから一緒にいるのではなく「離婚するような人」と思われたくないというプライドを守るため結婚生活を続けていた。これって怖いけど、とんでもリアル。大人になるとみんなそれぞれ「都合」や「打算」が多くなりますが、「愛」と「都合」の境界線って永遠に解けない謎ですね。
 河本 清順
「夢売るふたり」
 監督 西川美和
 出演 松たか子、阿部サダヲ、鈴木砂羽、香川照之
 公開期間 12月22日~1月25日
 会場・お問い合わせ/シネマ尾道
 尾道市東御所町6-2 TEL:0848-24-8222
 HP: http://www.cinema-onomichi.com/